

市民公開講座

開催日

令和元年 7月7日(日)

会場

宝山ホール(大ホール)

時間

12:00開場 14:00開演



■情報提供

PRP療法(多血小板血漿療法)

八反丸リハビリテーション病院 整形外科医

長嶺 智徳 先生

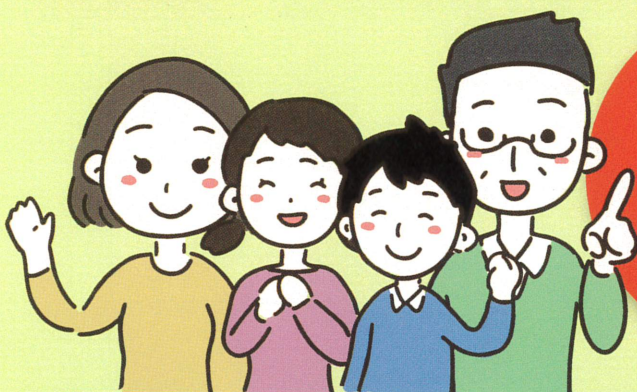
メジャーリーグの選手がしているPRP療法ってなに?

心臓リハビリテーションについて

医療法人敬愛会 中江病院 院長

中江 佐八郎 先生

心臓病があると動いてはいけない!?むしろ適切な運動が大事



参加無料

14:30



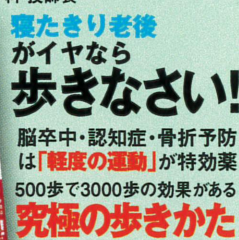
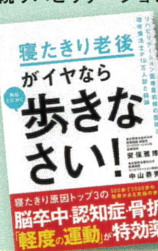
PROFILE

2012年に筑波大学大学院人間総合学科研究科学修了。分院技師長を経て、4つある附属病院の統括所属長として、多くの理学療法士や作業療法士等を束ねる。

根拠から理解!日常生活で上手に高める筋力強化の方法とその仕組み

中山 恭秀先生 東京慈恵会医科大学附属病院リハビリテーション科 技師長
広島大学医学部 客員教授

歩くときはどんな筋がどの程度使われ、加齢によってどうかわるのでしょうか。加齢に伴って起こる"どうしようもないこと"と、"どうにかなること"に分け、歩行のメカニズムに関する研究結果と合わせて"どうにかなる方法"をご紹介します。



15:35



PROFILE

所属学会 / 日本脳神経外科学会
日本正常圧水頭症学会
アメリカ脳神経外科学会
国際水頭症学会
日本脳神経外科学会専門医

「脳脊髄液減少症」と起立性調節障害 子供の不登校について

高木 清先生 医療法人社団 曙会 流山中央病院 正常圧水頭症センター センター長
東京大学生産技術研究所 研究員

成人では追突事故のような軽微な外傷の後に、頭痛、めまい、睡眠障害、集中力低下などの様々な症状を訴える患者が少なくない。これは「脳脊髄液減少症」という病名で知られ、ブラッドパッチが有効だとされている。学童期にも、運動中の軽微なケガ(柔道で投げられた、サッカーやバスケのボールが当たったなど)の後、成人の「脳脊髄液漏出症」とよく似た症状を訴え、不登校の原因の一つとして問題になっている。起立性調節障害は学童期に多く、100人に一人くらいの割合でいる。「脳脊髄液漏出症」によく似た症状を訴え、これも不登校の大きな原因の一つとなっている。これらの病気について、自験例を示しながら診断と治療について説明します。

●主催 / 南九州rTMS研究会

●協賛 / 医療法人慈風会厚地リハビリテーション病院・医療法人慈圭会八反丸リハビリテーション病院・医療法人敬愛会中江病院

●後援 / 鹿児島市教育委員会・鹿児島県看護協会・鹿児島県理学療法士協会・鹿児島県作業療法士協会・鹿児島県言語聴覚士会・鹿児島県介護福祉士会

お問い合わせ先 / 鹿児島市下竜尾町 3-28 ☎099-222-3111 八反丸リハビリテーション病院 担当: 上口、本松